



かがやき

広陵町立広陵東小学校

No. 19

令和6年2月19日発行

令和に生きる力

令和に生きる子どもたちは、生まれたときからパソコンやスマホが身近にあり、インターネットを使って家の中にいながら外の世界とつながることが当たり前時代に生きています。

自分の興味や関心を満たす動画や画像をはじめとする情報が簡単に手にはいり、様々な知識を身につけることができます。またAIにより、生活そのものが予想を超えるスピードで変化しています。

そんな中、信頼性の低い情報を鵜呑みにしたり、顔が見えない相手とのやりとりから危険な状況に追い込まれたりするトラブルも後を絶ちません。また、ゲームの中の些細なやりとりから大切な友達からの信頼を失うなどの「負の部分」も多くあることも認めざるを得ないところです。

さらに、人との話し合いや協働が苦手な、知識はあるけれど、コミュニケーションがうまくとれず、人間関係を築く力が身につかないまま大人になってしまうことも心配しています。

こうした時代に生きる子どもたちにはコミュニケーション能力と、自らの考えを発信できる力がが必要です。そのためには多くの体験をとおして確実な知識や技能を身につけること、様々な人との関わりの中から、価値観や考えに触れ、深く考えることを大切にしていきたいと考えています。

新入生体験入学

来年度、入学予定のみなさんが小学校へ体験入学をしに来てくれました。



まず、5年生と一緒にゲームをして楽しみました。次に、1年生の教室に入り、学校の一年間の様子を教えてもらいました。



入学する楽しみがふくらんだようでした。

琴・尺八体験



本校では琴と尺八の体験を毎年5年生で行っています。尺八は音を鳴らすのも難しいので、少し音が出ただけで大喜びでした。琴は簡単な曲の一フレーズを演奏させてもらいました。

避難訓練をしました

「休み時間に大きな地震があった後、火事がおきた」という想定で、避難訓練をしました。今回は休み時間ということで、子どもたちは思い思いの場所にいるときでしたが、自分で判断して全員無事に運動場に避難することができました。



緊急地震速報が放送から流れると、運動場にいた人は、真ん中に集まって静かにまちました。



2月の掲示

